

定期報告書(第一面)の記入例

第三十六号の四様式 (第六条、第六条の二の二関係) (A4)

定期検査報告書  
(昇降機)

各特定行政庁 宛て

提出先: ~知事、~市長、~事務所長

(第一面)

建築基準法第12条第3項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁

様

客先捺印日付を記入

平成 年 月 日

所有者と管理者が異なる場合は管理者が報告者となる。

報告者氏名

印

氏名を自署する場合は、押印の省略が可能

検査者氏名

印

【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

・法人の場合は必ず 法人名、役職名、氏名を記入する。  
(個人所有者の場合は氏名のみ)

・氏名のフリガナ、郵便番号、電話番号の記入も漏らさないこと。

・住所は住居表示で記入すること。

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

所有者から昇降機等の維持管理上の権限を委託されている責任者で、管理人は含まず。

・区分所有法に準拠した管理者であること。

共同住宅では、管理組合理事長名(〇〇管理組合 理事長〇〇)と記入する。

【3. 報告対象建築物等】

- 【イ. 所在地】
- 【ロ. 名称のフリガナ】
- 【ハ. 名称】
- 【ニ. 用途】

建物名(〇〇ビル、△銀行口支店 など)を先に記入する。

建物の用途区分(事務所、ホテル、学校、工場、共同住宅 等)を先に記入する。

【4. 報告対象昇降機】

【イ. 検査対象昇降機の台数】 ( A 台) 報告する台数を記入する。

【ロ. 指摘の内容】

要是正の指摘あり	B 台 (うち既存不適合)	C 台
要重点点検の指摘あり	D 台 指摘なし	E 台

【ハ. 指摘の概要】「要是正」及び「要重点点検」の項目番号と検査項目を記入する

【ニ. 改善予定の有無】 有 (平成 年 月に改善予定) 無

【ホ. その他の特記事項】

整備確約書・整備完了届の添付

Bの台数は、第二面6欄【イ. 指摘の内容】で、「要是正の指摘あり」に「レ」マークを入れた台数を記入。  
【注意】C・D・Eの台数は、Bの数え方と異なる(第二面6欄【イ.】で「レ」マークを入れた台数の合計とは限らない)ため、定期検査業務基準書2016年度版47ページを参照。

※受付欄	※特記欄	※協議
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

検査会社等の独自整理番号記入欄

協議会NO  
整理番号

【4. 報告対象昇降機】「ハ」  
「要是正」、及び「要重点点検」の指摘がある場合、点検項目の番号と、内容を簡潔に記入する。

【4. 報告対象昇降機】「ニ」  
「レ」マークを漏らさぬこと。  
「要是正」及び「要重点点検」に指摘がある場合には、「有」を選択。その際、改善の予定が決まっている場合には、「有」のチェックも入れ、あわせて年月を記入する。

【4. 報告対象昇降機】「ホ」  
指摘事項以外に、特に報告すべき事項がある場合に、記入する。

定期検査業務基準書2016年度版35ページを参照。